

淡路国社家村文書概要

- 1: 文書群番号 087012
- 2: 文書群名 淡路国社家村文書
- 3: 出所 社家村
- 4: 家業・役職等 -
- 5: 地名 淡路国三原郡社家村／徳島県三原郡社家村／名東県三原郡社家村／兵庫県三原郡社家村／三原郡上田村社家／三原郡神代村社家／三原郡三原町神代社家
- 6: 行政区分 池田忠雄氏所領／阿波国徳島藩領／徳島県／名東県／兵庫県／上田村／神代村／三原町
- 7: 歴史
社家村は淡路島南部、三原平野の南東端、諭鶴羽山系北麓、三原川とその支流上田川の上流域に位置する。
村高は近世前期232石余、中期332石余、後期（天保）416石余、（安政）481石余。「淡路国津名郡三原郡反別戸数取調帳」には、高447石余のうち、徳島藩蜂須賀氏蔵入高38石余、同藩家中の給地高396石余とある。
- 8: 伝来 昭和62年（1987）5月に古書籍商より購入、平成14年（2002）2月に整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 18点（目録件数18件）
- 11: 年代 寛永4年（1627）～万延元年（1860）
- 12: 構造と内容 本文書群は、近世社家村の土地に関する史料で構成されており、正保4年（1647）・元禄2年（1689）・享保2年（1717）・文化4年（1807）の検地帳がある。また、徳島藩蜂須賀氏により開墾が奨励されていたことを物語る「打直し検地帳」もある。ほかに「五か年切本米返し田畠売渡証文」など。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 中村由佳